

# 興道

休まず 心をこめ 力をあわせて やりとげよう

## 工夫・シェア・チャレンジ



浦庄小学校校長室だより  
令和3年4月8日発行

## 令和3年度もよろしくお願ひします。

学校に子どもたちの元気な声がかもどり、新しい年度が始まりました。保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染拡大の第4波が心配される中でのスタートとなりました。引き続き感染拡大防止対策へのご協力もよろしくお願ひいたします。

今年度の学校教育目標は「校訓『興道』のもと、人間性豊かでたくましく生きる力をもった児童を育成する ～「聴く・話す・学び合う」ことで『深い学び』を実現する～」としました。この目標のもと、全職員一丸となって、さらに充実した学校経営に努めます。新しい石井町学校給食センターへの移行による調理員の転任・退任(3名)、学級数減による教員定数減(2名)、町特別支援教育支援員増(1名)、スクール・サポート・スタッフの新たな配置(1名)があり、今年度は20名の教職員組織で学校運営を行ってまいります。昨年度より3名少ないスタッフですが、「工夫・シェア・チャレンジ」を合い言葉に、子どもたちの成長に向けて精一杯努力してまいります。児童のなりたいたいという夢や、やりたいという願ひを叶えられるように、その土台づくりを手助けしていきます。

児童、保護者、地域の皆様のご期待に応えられるような教育を目指していきたくお願ひしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

※始業式で子どもたちに次のような話をしました。

はじめに、新型コロナウイルス感染拡大の第4波が心配されています。引き続き、自分のできることをしっかりとやって、自分の命と健康を、周りの人の命と健康をしっかりと守っていきましょう。

さて、今日から、新しい学年が始まります。新しくどんな先生が来ているのだろうか、担任の先生はだれなのだろうか、期待と不安が入り交じった、わくわく、ドキドキするような気持ちで来たことでしょう。去年はできなかったことも、今年ではできるとお願ひします。「よし、これから頑張るぞ」という、引き締まった気持ちをいつまでも持ち続けて、皆さん一人一人がいいスタートを切ってほしいとお願ひします。

新しい年の初めに、皆さんに伝えたいことはたくさんあります。今日はその中から、今年度の浦庄小学校の目標についてお話しします。この写真を見てください。

昭和11年にできた「興道館」という建物です。この建物は、浦庄地域から大阪や東京などにでて暮らされていた方々が、母校やふるさと浦庄への愛情、浦庄を出て苦労しながら自立したことや、浦庄の子どもが立派な人になるようにという思いで、作ってくださったそうです。

そうした思いを大切に、浦庄小学校の子どもたちを育てたいという思いから、今から約35年前に当時の校長先生が、校訓「興道」を考えられたそうです。

子どもたちにわかりやすいように「～休まず 心をこめ 力をあわせて やりとげよう～」という副題がつけられています。

こうした思いを受け継いで、皆さん一人一人が成長できるように、今年度の学校教育目標を、「校訓『興道』のもと、人間性豊かでたくましく生きる力をもった児童を育成する」

～「聴く・話す・学び合う」ことで『深い学び』を実現する～」としました。

「聴く・話す・学び合う」は昨年もずっと話してきたとおりです。浦庄小学校は、他のどの学校より、人の話をしっかりと聞いて、自分の考えをはっきりと話すことができるように頑張る子どもがいっぱいいるところです。とだれもがこたえられるような学校を目指していきましょう。

人それぞれ、感じ方も違えば、言い方や話し方も違います。けれど、一生懸命伝えようとしていくことには、バカにしたり無視したりしないで、一生懸命に聴いて、相手を安心させてあげてください。お互いに、人に何かを伝えるときには、相手が傷つくような言葉や、言葉遣いをしないように気を付けて、みんなが温かな雰囲気になれるような学級を作っていくてください。

では、1年間ともにがんばりましょう。



興道館正面